2 1 記 一入転黒 月す勤の一る、ボ 日と再し かと就ル らも職べ 四に等ン 月 デ フ ス よ は ペ 日特異ン ま別動で で徴後記 の収の載 間継勤し に続務て 退の先く 職場でだ 等合引さ し」きい た欄続。 人にき に必特 未要別 徴 事 徴 収項収 税をを 額記行 が載う あし場 る、合 場一に 合月は に一、 は日、現異 一在動 括の後 徴住の 収所未 す地徴 る〜収 こ課税 と税額 が地の 義 一 徵 務の収 づ市方 け町法 ら村し れ長欄 てにの い送枠 ま付内 すしに だー さと

い番 。号 を

注 意

給 与 支 払 報 告 特 別 徴 収 に係る給与所得者異動届出書

◎異動があった場合は、速やかに提出してください。

年 度	1. 現年度	2. 新年度 3. 両年度		
	特別徴収義務者 指定番号 宛名番号	★市町村ごと に異なります		
	· 担連 所属			
	当絡 氏名			
固人番号の記載に当たっては、 左端を空欄とし右詰めで記載	者先 電話	内線(
異 動	異動の事由	由 異動後の未徴収 税額の徴収方法		
日日日	2. 転 3. 休 ・ 長 4. 死 5. 支払少額・不定期 6. 合 併・解 7. そ の 他	2. 一括 徴 収 活から 番号 3. 普 通 徴 収 を (本人納付) 記入 再雇用予定につき新年度 を特別徴収にする場合に はチェックしてください。		
	新しい勤務先へは、 月分(翌月1 徴収し、納入するよ 受給者番号 納入書の要否 (新規の場合のみ記載)	10日納入期限分)から		
月日 徴収予定(上記(ウ)と『	司額)	舌徴収した税額は、 分(翌月10日納入期限分)で		

両年度コピー済

年度処理不要

	横須賀市長	料 所 在 地 与 別 徴		短 番 号 宛 名 番 号	★市町村ごとに異なります		
2	令和 年 月 日提出	」 支収		担連 所属			
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	払務 氏名又は名称		当絡 氏名			
		者 個人番号 又は法人番号	←個人番号の記載に当たっては、 左端を空欄とし右詰めで記載	者先 電話	内線()		
	フリガナ 氏 名	(ア) (イ) (旧 特別徴収税額 徴収済額 (年 税 額)	(ウ) 異 動 未徴収税額 年月日	見動の事由	異動後の未徴収 税額の徴収方法		
給	生年月日	年 月 日		1. 退 職	1. 特別徴収継続		
与.	個人番号	JAN	月から 年 日本から	2. 転 勤 3. 休 職・長 欠	2. 一括 徴 収		
所	受給者番号	月まで		4. 死 亡 5. 支払少額·不定期	□ 番号 3. 普 通 徴 収		
得			Л	6. 合併・解散7. その他	記入		
者	現在の住所			事由・理由	■ 再雇用予定につき新年度 を特別徴収にする場合に		
	異動後の 住 所	—————————————————————————————————————			を特別策略にする場合にはチェックしてください。		
1.特別徴収継続の場合 新しい勤務先へは、月割額 円を							
der	特別徴収義務者 指 定 番 号	(新規) 法人番号			司領 ロゼ 日納入期限分)から		
勤	東 フリガナ		者氏	受給者番号	ENERGY C 7 6		
務先	務		··· 理 ⁴	納入書の要否	おがられる事ので		
L	U 以有又似有称			(新規の場合のみ記載)	番号を 1. 必要 2. 不要 記入		
2	.一括徴収の場合		■ 郷 収 ヲ 戻 □ □ ■ 徴 収 予 定	類 左記の一年後	如いた穏貊け		
理	理 1. 異動が合和 年12月31日までで、一括徴収の申出があったため						
由	右から 番号を 2. 異動が令和	年1月1日以降で、特別徴収の継続の申出がないため			(翌月10日納入期限分)で		
	記入		月日	円 納入します。			
3.普通徴収の場合 ※ 年度 □ 資登 年度 □ 資登 市 入力 検証 入力 検証							
理		年12月31日までで、一括徴収の申出がないため	H.	打打	<u>加. // /J / 1</u> 1		
由	右から	2. 令和 年5月31日までに文払われるべき給与又は退職手当等の額が未徴収柷額(ワ)以下であるため 記					
	■ 番号を 3. 外 □ による退■ 記入	・「「「」である。ことは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで		□ 両年度コピー			